

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公表番号】特表2013-505030(P2013-505030A)

【公表日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-530325(P2012-530325)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	39/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/08	(2006.01)
A 6 1 K	38/43	(2006.01)
A 6 1 L	17/00	(2006.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
A 6 1 L	15/44	(2006.01)
A 6 1 L	24/00	(2006.01)
A 6 1 L	26/00	(2006.01)
A 6 1 L	29/00	(2006.01)
A 6 1 L	33/10	(2006.01)
C 0 7 K	14/745	(2006.01)
C 0 7 K	7/08	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
---------	-------	---

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	39/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	11/08	
A 6 1 K	37/465	
A 6 1 L	17/00	
A 6 1 L	27/00	V
A 6 1 L	15/03	
A 6 1 L	27/00	D
A 6 1 L	27/00	C
A 6 1 L	25/00	A
A 6 1 L	25/00	K
A 6 1 L	29/00	Z
A 6 1 L	33/00	A
C 0 7 K	14/745	Z N A
C 0 7 K	7/08	
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成27年4月27日(2015.4.27)**【誤訳訂正1】****【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0 0 0 8**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0 0 0 8】****発明の概要**

本発明の第一の局面は、炎症及び／又は過度の血液の凝固の処置又は予防における使用のための、血液凝固をモジュレートする天然に存在するタンパク質、すなわち、ヘパリンコファクターIIに由来するアミノ酸配列、又はその断片、変異体、融合体若しくは誘導体、又は前記その断片、変異体若しくは誘導体の融合体を含んでなるか、又はこれらから成るポリペプチドであって、該断片、変異体、融合体若しくは誘導体は、抗炎症及び／又は抗凝固活性を示す、上記ポリペプチドを提供する。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

15～30個のアミノ酸の長さであり、ヘパリンコファクターIIに由来する配列番号2のアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチド、又は該ポリペプチドの断片、変異体若しくは誘導体、又はそのいずれかの融合体であって、

該ポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体は、抗炎症活性及び／又は抗凝固活性を示し、

該ポリペプチドの該断片は、配列番号2のアミノ酸配列の少なくとも12個の連続するアミノ酸を含み、

該ポリペプチドの該変異体は、15～30個のアミノ酸の長さであり、配列番号2のアミノ酸配列と少なくとも90%の同一性を有し、

該ペプチドの該誘導体は、15～30個のアミノ酸の長さであり、配列番号2のアミノ酸配列を含み、かつ、PEG化、アミド化、エステル化、アシル化、アセチル化及び／又はアルキル化により修飾される1つ又はそれより多いアミノ酸を含み、そして、

該融合体は、グルタチオン-S-トランスフェラーゼ、プロテインA, His6、Myo cエピトープタグ、ビオチンモイエティ、ストレプトアビジンモイエティ、放射性モイエティ又は蛍光モイエティとの融合体である、

上記ポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体。

【請求項2】

ポリペプチドが配列番号1又は2のアミノ酸配列から成る、請求項1に記載のポリペプチドの断片、変異体、誘導体若しくは融合体。

【請求項3】

ポリペプチドが配列番号1又は2のアミノ酸配列から成る、請求項1に記載のポリペプチド。

【請求項4】

医薬に使用するための、請求項1～3のいずれか一項に記載のポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体。

【請求項5】

炎症及び／又は過度の血液の凝固の処置又は予防における請求項4に記載の使用のためのポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体。

【請求項6】

処置又は予防が下記から選択される疾患、状態又は適応の処置又は予防である、請求項5に記載の使用のためのポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体：

i) 感染性要素の有無にかかわらず、急性全身性炎症疾患、例えば全身性炎症反応症候群(SIRS)、ARDS、敗血症、重症敗血症、及び敗血症性ショック；丹毒、髄膜炎、関節炎、トキシックショック症候群、憩室炎、中垂炎、膀胱炎、胆囊炎、大腸炎、蜂巣炎、火傷感染症、肺炎、尿路感染症、術後感染症、及び腹膜炎を含む、他の全身性又は限局性で侵襲性の感染性及び炎症性疾患；

ii) 下記を含む慢性炎症性及び／又は感染性疾患；囊胞性線維症、COPD及び他の肺

疾患、慢性皮膚及び胃潰瘍を含む胃腸疾患、アトピー性皮膚炎、口腔内潰瘍（アフタ性潰瘍）、陰部潰瘍及び炎症性変化、歯周炎、結膜炎及び角膜炎を含む眼の炎症、外耳炎、中耳炎、泌尿生殖器の炎症などの他の上皮炎症性及び／又は感染性疾患：

iii) 術後炎症；血栓症、D I C、術後凝固異常、並びに体外循環、及び生体材料の使用を含む異物との接触に関連する凝固異常を含む、炎症性及び凝固異常；更に、血管炎関連炎症性疾患、並びにアレルギー性鼻炎及び喘息を含むアレルギー：

iv) 過度の接触活性化及び／又は脳卒中（これらに限定されない）に関連する凝固：

v) 抗微生物剤処置との併用での過度の炎症。

【請求項 7】

処置又は予防が急性炎症、敗血症、急性呼吸窮迫症候群（A R D S）、慢性閉塞性肺疾患（C O P D）、囊胞性線維症、喘息、アレルギー性及び他のタイプの鼻炎、皮膚血管炎及び全身性血管炎、血栓症及び播種性血管内凝固（D I C）の処置又は予防である、請求項4に記載の使用のためのポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体。

【請求項 8】

請求項1～3のいずれか1項に記載のポリペプチド、断片又は変異体をコードする、単離された核酸分子。

【請求項 9】

請求項8に記載の核酸分子を含んでなる、宿主細胞。

【請求項 10】

請求項1～3のいずれか1項に記載のポリペプチド、断片、変異体、誘導体若しくは融合体を、製薬学的に許容される賦形剤、希釈剤、担体、バッファー又はアジュバントと一緒に含んでなる、医薬組成物。